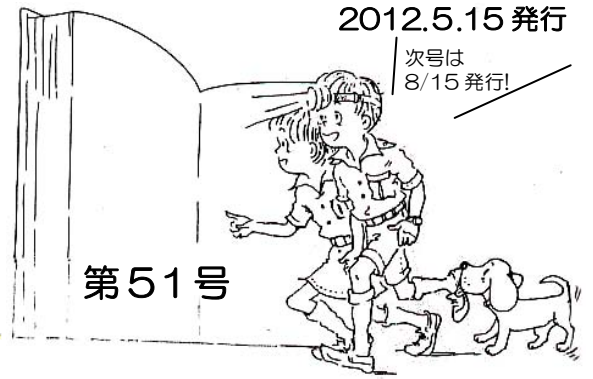


# にのみやまちとしょかん 図書館だより

第51号



## 特集 本屋大賞作品紹介

「なんか面白い本ない？」図書館のカウンターにいるとこんな質問をよく受けます。本の好みは本当に人それぞれなので一概には言えず、この手の質問への回答は実は案外難しいものです。そんな時、強い味方になるのが「賞をとった作品」。芥川賞や直木賞作品をはじめ、本屋大賞の作品などをきっかけにすると比較的スムーズに紹介できます。とくに本屋大賞は書店員の投票だけで選ばれる賞で、書店員自身が自分で読んで「面白かった」「すすめたい」という本が候補作に並ぶため、最近の人気作品が一覧できて重宝します。

今回の特集では、これまでの本屋大賞の受賞作とベスト10を紹介します。小説選びのご参考にどうぞ！

### 2012年（第9回）

- ★  
大賞『舟を編む』 三浦しをん
- 2 ジェノサイド 高野和明
  - 3 ピエタ 大島真寿美
  - 4 くちびるに歌を 中田永一
  - 5 人質の朗読会 小川洋子
  - 6 ユリゴコロ 沼田まほかる
  - 7 誰かが足りない 宮下奈都
  - 8 ビブリア古書堂の事件手帖 一葉子  
さんと奇妙な客人たちー 三上延
  - 9 偉大なる、しゅららぼん 万城目学
  - 10 プリズム 百田尚樹

### 2011年（第8回）

- ★  
大賞『謎解きはディナーのあとで』  
東川篤哉
- 2 ふがいない僕は空を見た 窪美澄
  - 3 ペンギン・ハイウェイ 森見登美彦
  - 4 錨を上げよ 百田尚樹
  - 5 シューマンの指 奥泉光
  - 6 叫びと祈り 梓崎優
  - 7 悪の教典 貴志祐介
  - 8 神様のカルテ2 夏川草介
  - 9 キケン 有川浩
  - 10 ストーリー・セラ 有川浩

### 2010年（第7回）

- ★  
大賞『天地明察』 冲方丁
- 2 神様のカルテ 夏川草介
  - 3 横道世之介 吉田修一
  - 4 神去なあなあ日常 三浦しをん
  - 5 猫を抱いて象と泳ぐ 小川洋子
  - 6 ヘヴン 川上未映子
  - 7 船に乗れ! 藤谷治
  - 8 植物図鑑 有川浩
  - 9 新参者 東野圭吾
  - 10 1Q84 村上春樹

### 2009年（第6回）

- ★  
大賞『告白』 湊かなえ
- 2 のぼうの城 和田竜
  - 3 ショーカー・ゲーム 柳広司
  - 4 テンペスト 池上永一
  - 5 ボックス! 百田尚樹
  - 6 新世界より 貴志祐介
  - 7 出星前夜 飯嶋和一
  - 8 悼む人 天童荒太
  - 9 流星の絆 東野圭吾
  - 10 モダンタイムス 伊坂幸太郎

### 2008年（第5回）

- ★  
大賞『ゴールデンランバー』  
伊坂幸太郎
- 2 サクリファイス 近藤史恵
  - 3 有頂天家族 森見登美彦
  - 4 悪人 吉田修一
  - 5 映画篇 金城一紀
  - 6 八日目の蝉 角田光代
  - 7 赤朽葉家の伝説 桜庭一樹
  - 8 鹿男あをによし 万城目学
  - 9 私の男 桜庭一樹
  - 10 カシオペアの丘で 重松清

### 2007年（第4回）

- ★  
大賞『一瞬の風になれ』 佐藤多佳子
- 2 夜は短し歩けよ乙女 森見登美彦
  - 3 風が強く吹いている 三浦しをん
  - 4 終末のフール 伊坂幸太郎
  - 5 図書館戦争 有川浩
  - 6 鴨川ホルモー 万城目学
  - 7 ミーナの行進 小川洋子
  - 8 陰日向に咲く 劇団ひとり
  - 9 失われた町 三崎亜記
  - 10 名もなき毒 宮部みゆき

### 2006年（第3回）

- ★  
大賞『東京タワー  
ーオカンとボクと、時々、オトンー』  
リリー・フランキー
- 2 サウスパウンド 奥田英朗
  - 3 死神の精度 伊坂幸太郎
  - 4 容疑者Xの献身 東野圭吾
  - 5 その日のまえに 重松清
  - 6 ナラタージュ 島本理生
  - 7 告白 町田康
  - 8 ベルカ、吠えないのか? 古川日出男
  - 9 県庁の星 桂望実
  - 10 さくら 西加奈子

### 2005年（第2回）

- ★  
大賞『夜のピクニック』 恩田陸
- 2 明日の記憶 荻原浩
  - 3 家守綺譚 梨木香歩
  - 4 袋小路の男 絲山秋子
  - 5 チルドレン 伊坂幸太郎
  - 6 対岸の彼女 角田光代
  - 7 犯人に告ぐ 雲井脩介
  - 8 黄金旅風 飯嶋和一
  - 9 私が語りはじめた彼は 三浦しをん
  - 10 そのときは彼によろしく 市川拓司

### 2004年（第1回）

- ★  
大賞『博士の愛した数式』 小川洋子
- 2 クライマーズ・ハイ 横山秀夫
  - 3 アヒルと鴨のコインロッカー  
伊坂幸太郎
  - 4 永遠の出口 森絵都
  - 5 重力ピエロ 伊坂幸太郎
  - 6 4TEEN 石田衣良
  - 7 デッドエンドの思い出 吉本ばなな
  - 8 終戦のローレライ 福井晴敏
  - 9 陰摩羅鬼の瑕 京極夏彦
  - 10 ららら科学の子 矢作俊彦

# 2月～4月の新着本 & CD

2012年2月～2012年4月新着分より  
(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)

本

## 『サービスの裏方たち』

(野地秩嘉 / 新潮社 / '11.7 / 281.0 ノ)

手作りにこだわる給食のおばさん、サービス精神旺盛なロックバンド、クレイジーケンバンド。いろいろな世界で活躍する裏方たちにスポットをあてています。サービス業に携わる人たちの信念が伝わり、静かな感動をよぶ10篇のノンフィクション。

画像  
なし

## 『子どもの声を社会へ - 子どもオンブズの挑戦 -』

(桜井智恵子 / 岩波書店 / '12.2 / S 369.4 ヶ)

「子どもの人権オンブズパーソン」とは子どもが、いじめや子どもを取り巻く困難と取り組めるよう助けるための公的な制度。代表を務める著者が問題解決の思想や展望を紹介。

画像  
なし

## 『完全図解医療のしくみ』

(読売新聞医療情報部 / 講談社 / '11.9 / 498.1 カ)

「同じ入院日数でも月をまたぐと2倍近い費用がかかる？」医療費の中身やおもな病気の治療法、くすりのしくみ等、様々な疑問に答える為に医療の今をイラストを使いわかり易く解説。

画像  
なし

## 『日経業界地図 2012年版』

(日本経済新聞社 / 日本経済新聞出版社)

'11.9 / 602.1 ニ 12)

企業間の勢力や出資関係、業況・合併・買収・提携など、グラフや表を用いて解説。主要110業界の動向から政権、世界情勢がひと目でわかる。社会人のための必須常識を網羅。

画像  
なし

## 『日本のコピーベスト500』

(安藤隆(ほか) / 宣伝会議 / '11.9 / 674 コ)

10名のトップクリエイターが選んだ日本のコピーベスト500を紹介。ベスト100には選評も掲載。栄えある1位は約30年前の「おいしい生活」短い言葉に、その時代が甦ってきます。

画像  
なし

## 『リアルキャンプBOOK』

- 脱・ビギナーを目指すキャンパーたちへ -』

(柘出版社 / '11.9 / 786.3 リ)

サーフキャンプ、ロースタイルキャンプなど、近年多様になってきたキャンプスタイルを紹介。目的別の楽しみ方や実用ノウハウを徹底解説。焚き火名人への道、おつまみレシピなども収録。

画像  
なし

## 録音 CD (演奏者 / 収録時間 / 請求記号)

### 『ベイベー・ブレイン・クラシック』

- 高嶋ちさ子 x 池谷裕二脳研究者プレゼンツ -』

(東京都交響楽団(ほか) / 145分 / 910 ベ)

リズムカルな選曲はベイベーのために、30秒でリラックスできる曲はパパママのために。脳科学的な根拠を踏まえた選曲で、一味違う親子向けクラシック・コンピレーション・アルバムです。

画像  
なし

## 児童書

### 『地震の夜にできること。』

(松本春野 / 角川書店 / '11.8 / E マ)

「みんないるよ ひとりじゃないよ」そんなメッセージが温かく優しいタッチの絵と文からあふれてきます。地震の夜に限らず、不安なところを大きく包み込んでくれる一冊です。

画像  
なし

## 展示テーブルから

5月の展示テーマ



世界一博覧会

画像  
なし

紹介本

### 『世界一空が美しい大陸南極の図鑑』

(武田康男文・写真 / 草思社 / '10.8 / 402.9 タ)

“世界一高いタワー”として昨年ギネスにも認定された東京スカイツリーが今月いよいよ開業します。高さは634m。世界各地で高層建造物が計画・建設されている中で、自立式電波塔としての高さ世界一を誇ります。そこで今月の展示テーマは「世界一博覧会」として「世界一」がタイトルについている作品を集めました。

紹介の一冊は『世界一空が美しい大陸 南極の図鑑』です。気象写真の第一人者である著者が、越冬観測隊に参加した一年の間に撮影した写真が170点あまり掲載されています。南極でなければ見ることができない景色、空の色、雪の結晶。美しい写真はもちろん、科学的な解説も添えて紹介してあり読み応えも充分です。なかなか行く事のできない南極を満喫してみたいはいかがですか？

## こどものほんコーナーから

おすすめの一冊



### 『ぶたぶたくんのおかいもの』

ひじかたひさかつ

土方久功

福音館書店

'85.2

E ヒジ

画像  
なし

南洋の島々で暮し、詩人、彫刻家、民俗学者でもある土方久功の、数少ない絵本作品の一冊。読むほどに楽しい気持ちになってくる語り口と、ページごとに目を凝らしてしまう絵が魅力。息子達の小さい頃に何度読んだことか…。本業の全集も所蔵あり。

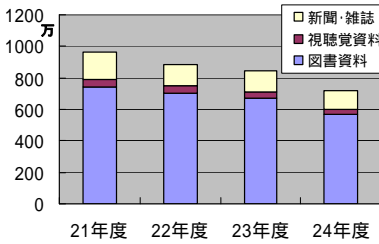
# 平成24年度 主な図書館事業

平成24年度の図書館の主な事業は以下のとおりです。今年度も町の情報・文化の発信地として、町民の皆様のお役に立てる図書館運営を目指します。

## 平成24年度資料購入費

図書（年鑑・白書等を含む）・・・約570万円  
 視聴覚資料（CD・DVDなど）・・・約30万円  
 新聞・雑誌・・・約120万円

## <資料購入費推移>



## 県内図書館との連携

県内ネットワークシステムによりリクエスト資料を借りて提供（相互貸借）  
 東海大学附属図書館との相互利用

## 学校との連携

団体貸出、総合学習支援（随時）  
 学校図書館連絡会議（年2回）

## 利用促進・広報事業（情報発信）

資料紹介（子育て情報コーナー他）  
 図書館だより発行（年4回）  
 図書館ホームページの充実

## イベント

図書館講座（大人向け、子育て支援関連講座）  
 図書館リサイクル市（5月19、20日開催）  
 にんぎょうげき大会（年1回）

## 子ども読書活動の推進

小中学生にすすめたい本展示・リスト配布  
 各対象向けおはなし会（毎月開催）  
 わらべうたであそぼう！（未就園児とその親対象）  
 「あかちゃんが始めてであう絵本」冊子配布（随時）  
 ブックスタート事業（保険予防課との共催）

## 地域資料の充実

二宮ゆかりの人物調査  
 地域資料展示（2階地域資料コーナー）

## 視覚障害者へのサービス

図書館だよりテープ版の無料送付

## その他

団体巡回貸出サービス（4ヶ所）  
 町内団体貸出（随時）  
 図書館協議会（年2回）  
 図書館ボランティアの活動（修理・録音図書等）

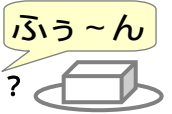
# ベストオーダー 2012年2月~2012年4月

この期間に予約が多かった本です

## 【一般書 ベスト10】

- 1 ナミヤ雑貨店の奇蹟 / 東野圭吾
- 2 舟を編む / 三浦しをん
- 3 共喰い / 田中慎弥
- 4 三匹のおっさん ふたたび / 有川浩
- 5 蝸ノ記 / 葉室麟
- 6 マスカレード・ホテル / 東野圭吾
- 7 玉村警部補の災難 / 海堂尊
- 8 紙の月 / 角田光代
- 9 ジェノサイド / 高野和明
- 10 贖罪の奏鳴曲(ソナタ) / 中山七里

豆腐は新鮮なのに  
なぜ「豆」が「腐」るか？



「腐」には腐るといふことの他に、ブヨブヨで柔らかいという意味がある。古代中国の唐の時代に考えられた食品だが日本で広く食べられるようになったのは室町時代以降である。

# 二宮ゆかりの人物

## はぎわら げつ 萩原 蘿月 (俳人)

大漁だシャオシャオ蝉が鳴き立てる

東太平洋のゆるい巨波がどんと胸にぶつかる

これは俳人萩原蘿月（1883~1961 本名芳之助）が昭和16年に二宮で詠んだ句です。

萩原蘿月は、明治16年12月31日（戸籍上は明治17年5月5日）商人の父芳助（俳号萩露）母サクの末子として横浜に生まれました。6歳の時に亡くなった父の愛蔵していたかなりの古俳書に年少の頃より親しみ、俳句雑誌「新俳句」や「ホトトギス」に投句、14歳で俳号蘿月を使い、明治39年東京帝国大学入学後ますます俳諧に傾倒しました。内藤鳴雪、高浜虚子に学び坂本四方太に師事し「ホトトギス」に「連句雑考」（明治41~43年）など多数の研究発表を公表し、最初の小説となる「愛妻の死後」（「ホトトギス」明治43年12月号）も書いています。

蘿月は、生涯で3人の妻を亡くし、7人の子供を抱え曲折波乱な人生を送ります。最初の妻茂死去後、失意のなかで、明治44年秋、弘前高女に赴任、津軽の荒々しい自然に触れ感動し、句風が一変することとなります。伝統的な「花鳥諷詠」「客観写生」を提唱する虚子と意見を異にし、定型によらない感動律俳句（自由律の感動主義俳句）を創始しました。大正2年7月には俳誌「冬木」を創刊、かたわら生活のため各地の大学などで教鞭をとり、「詩人芭蕉」（大正15年）を改訂した「芭蕉の全貌」（昭和10年）は高い評価を得、芭蕉研

究家としても知られるようになりました。明治学院大学時代の教え子だった内田南草は生来無欲恬淡な蘿月を物心両面から支え、蘿月の主唱する感動主義を堅持し、俳誌「唐檜葉」（後「多羅葉樹下」昭和4~19年）の刊行を続け、戦後は「梨の花」（後「感動律」昭和22~平成16年）を創刊しています。

冒頭の句は感動律俳句「小具くんの山荘 六句」中の二句で、二宮在住の小具義雄の山荘に三女アツと共に避暑に訪れた際詠んだものです。この句のほかに「小具義雄のハルピン行きを送る」（昭和7年）の一句、「相州二ノ宮町梅田氏別邸にて」（昭和6年）の一句も二宮で詠んでいます。アツは後に『萩原蘿月集』を編み、自著『障子の棧 蘿月春秋』のなかで「父は生まれ持った狷介な性格が災いし交友関係は非常に狭く、それゆえ特定の人との交情は、ことのほか細やかだった」と書いています。

蘿月は俳誌同人のつながりから北原白秋とも親しく、大正13年頃には当時小田原に住んでいた白秋の家をたびたび訪問していたようです。また俳壇の重鎮だった初山梓月との書簡は、現在も県立近代文学館に保管されています。



「感動律」追悼号 S36.4.30

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら図書館までお寄せください。

参考資料 『萩原蘿月集上下』（萩原蘿月著 萩原アツ編 / 大和書房 / '81） 『近代俳人列伝 第一巻』（上田都史 / 永田書房 / '87） 『萩原萩露蘿月抄』（萩原アツ編著 / 感動律俳句会 / '93） 『俳句百年』（稿本）（市川一男 / 口語俳句発行所 / '72） 『障子の棧・蘿月春秋』（萩原アツ / 感動律俳句会 / '92） 『日本近代文学大辞典 第3巻』（日本近代文学館編 / 講談社 / '77 / R 910.2 : 3） 『自由律俳句とは何か』（上田都史 / 講談社 / '92 / 911.3 : 9） 『感動律 萩原蘿月先生追悼号 113』（瀬戸青天城編 / 感動律俳句会 / '61）

# お知らせ・お願い

## 雑誌の受入中止と受入再開のお知らせ

**受入中止** (2012年3月受入分まで)

- 一般 「チルチンびと」「美術手帖」「pen」
- 児童 「新幼児と保育」

**受入再開** (2012年3月8日号～・寄贈)

- 一般 「週刊新潮」「週刊文春」

## 4月よりAV資料の所蔵リストが更新されました

開館当初から2012年3月31日までに受入をした資料のリストです。形態別、ジャンル別に載っています。新着リストとあわせてご利用ください。

## 予約の多い本やCDの寄贈にご協力ください

特に図書館で予約の多い本やCDの寄贈をお待ちしています。詳しくは館内掲示や図書館ホームページでご確認いただけます。

## 図書館講座

### 「布絵本を作って楽しむ」を終えて

2月15日、29日、3月7日に、小さなお子さん向けの布絵本を作成する講座を開催しました。

「夢のある可愛い絵本ができて嬉しい」「とても楽しい講座でした」と大変好評でした。



完成した布絵本

## 図書館託児サービスについて

平成24年度から第3木曜日に変更になりました。

# 行事

くわしくはお問い合わせください。

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

図書館リサイクル市 (19日・20日)

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

休館日

- ちいちゃいおはなし会 第2水曜日 (5月は第3水曜日)
- おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび 第3土曜日
- わらべうたであそぼう! 第3金曜日
- 図書館託児サービス 第3木曜日

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 第8回 図書館リサイクル市 開催のお知らせ

日時 5月19日(土)・20日(日)  
10時~16時(なくなり次第終了)

場所 ラディアン展示ギャラリー

内容 本(単行本・文庫・雑誌・児童書等)

1人10冊までお持ち帰りできます。  
5月19日は混雑が予想されるため、9時30分前から会場(展示ギャラリー)前で整理券を配布します。1人1枚です。  
持ち帰り用の袋などは、各自ご持参ください。  
どなたでもご入場できます。お気軽にお越しください。

# 展示テーマ

3月

- 一般 / 『Let's try handmade ~手作りを楽しもう~』
- 児童 / 『春』
- AV / 『祈り・希望~3.11に寄せて~』

4月

- 一般 / 『お散歩』
- 児童 / 『春』

5月

- 一般 / 『世界一博覧会』
- 児童 / 『むかしばなしをたのしもう』
- AV / 『母の日・父の日』

## 特設展示(4月~5月)

- 『小宮山量平さんをしのんで』
- 『吉武輝子さんをしのんで』

## 児童特設(4月~6月)

- 『天文ゴールデンイヤー』

## 地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

- 4~6月 『日比翁助』

## 書庫の本紹介コーナー

- 4~6月 『大河ドラマの原作本』
- 7~9月 『早逝した作家たち』

ご協力ありがとうございます

## 図書館基金

4月末までの累計  
**3,421,894 円**



《月別合計》

2月の金額 **4,440 円**  
3月の金額 **18,704 円**  
4月の金額 **4,169 円**

## ひとつだけ ~編集後記にかえて

「春になったら何か新しいことやりたいなあ」まだ寒い頃こんなことを思っていた。年度末は慌しくじっくり考える時間はなかったけれど、「今日から始めたい!」と4月1日から始めたのは「毎日何か写真を撮る」こと。次の春までにどれだけ記録ができるか楽しみ。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物ガイドブック』好評発売中!

